

枚方市地域福祉計画（第5期）の 進行管理に係る関連事業について



枚方市 健康福祉部 健康福祉政策課

1. 市政モニターアンケートの実施結果について



市政モニターアンケートの実施内容について

■ 実施時期

令和7年11月

■ 実施方法

市政モニター登録者（512名）へメールまたは郵送にてアンケート依頼

■ 回答方法

インターネットまたは郵送での回答

■ 有効回答件数

404件（インターネット回答331件、郵送回答73件）

*回答率 78.9%

■ 各設問の結果

参考資料1「市政モニターアンケート結果報告書」を参照

市政モニターアンケートの実施内容について

■ 年齢別回答者数

- ・ 20代 : 7人
- ・ 30代 : 93人
- ・ 40代 : 80人
- ・ 50代 : 84人
- ・ 60代 : 61人
- ・ 70代 : 53人
- ・ 80代 : 24人
- ・ 90代 : 2人

(計404人)

市政モニターアンケートの実施結果について

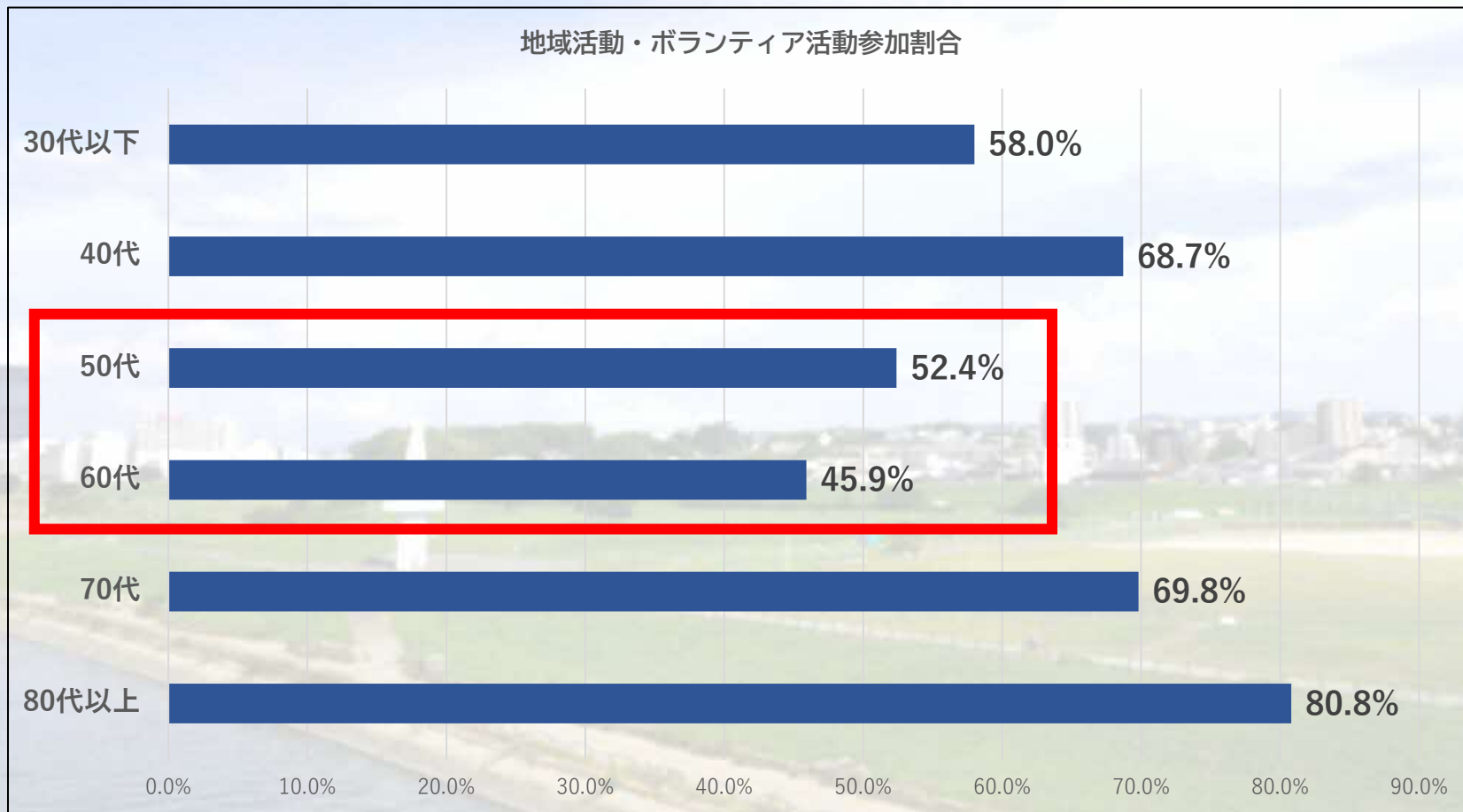
■ 結果報告内容

- (1) 地域活動やボランティア活動について
- (2) 福祉課題に関する相談について
- (3) 包括的相談窓口について
- (4) 成年後見制度について
- (5) 再犯防止について
- (6) 地域福祉の推進について

(1) 地域活動やボランティア活動について

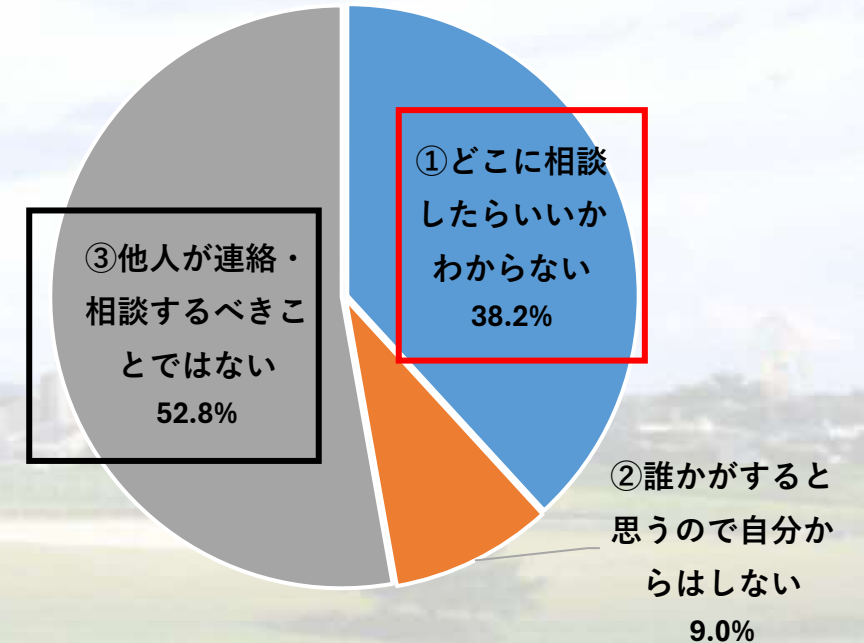
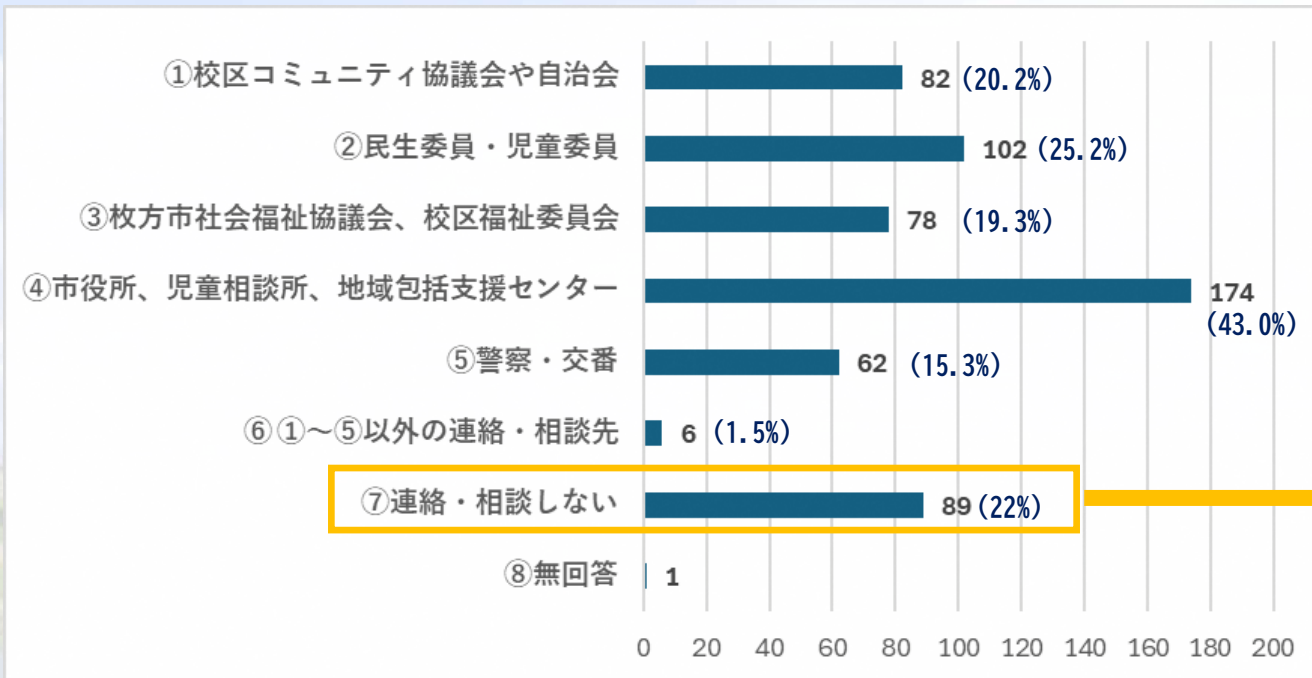
■ 参加する人の割合（全体） … 60.4% （参考資料1 P.2～4）

※参考：令和5年度市民意識調査 … 42.8%



(2) 福祉課題に関する相談について

- (設問) もしも、身近に以下のようなことがあった場合、あなたはどこに連絡・相談しようと思いますか。
※障害や病気、経済的問題など、何らかの困難を抱えた家庭があり、地域から孤立しているようで心配だ。
(参考資料1 P.7~8)

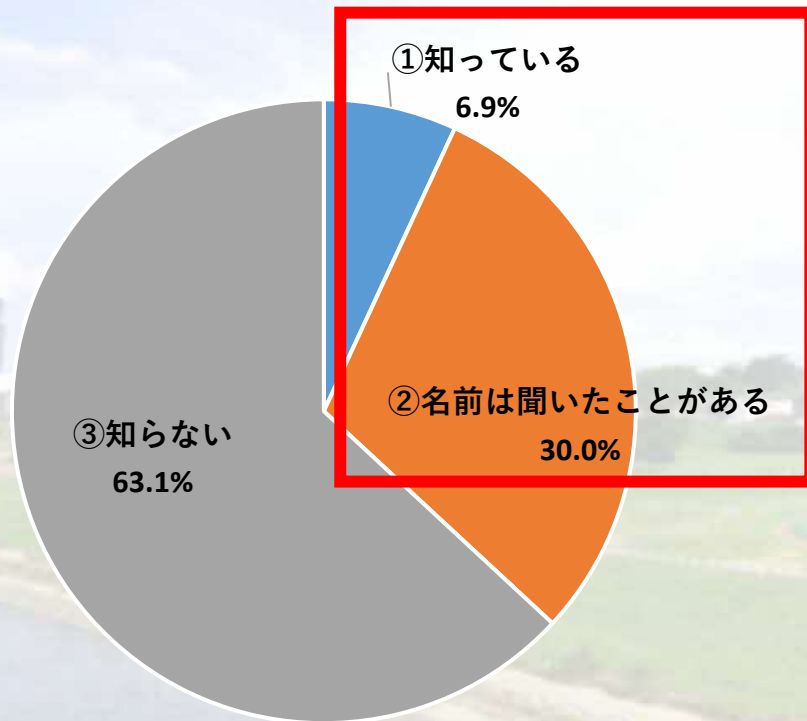


※参考：令和5年度市民意識調査…36.5% (⑦の回答)

(3) 包括的相談窓口について

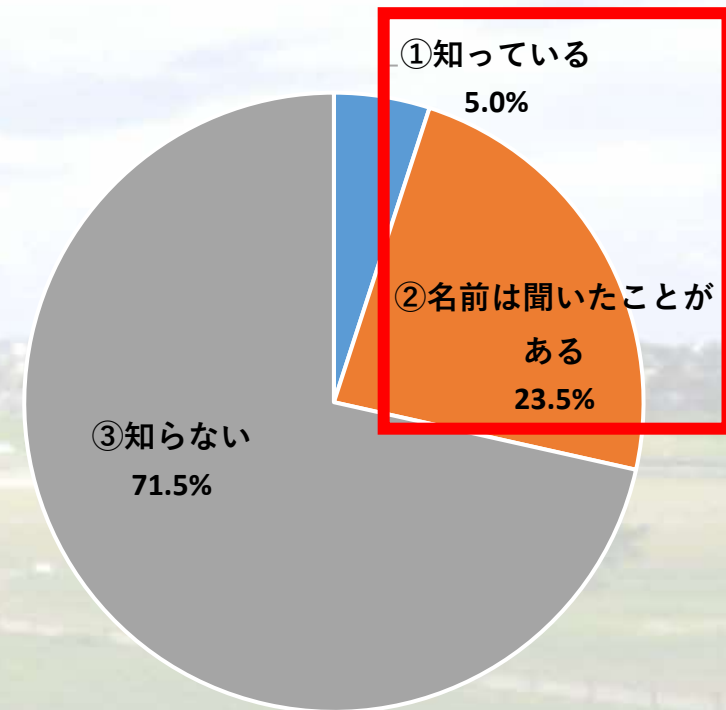
■ (設問) 次の相談窓口について、あなたはどの程度知っていますか。 (参考資料1 P.10)

健康・福祉なんでも相談
認知率…36.9%



※参考：令和5年度市民意識調査…40.9% (①②の回答)

コミュニティソーシャルワーカー
(CSW) 認知率…28.5%

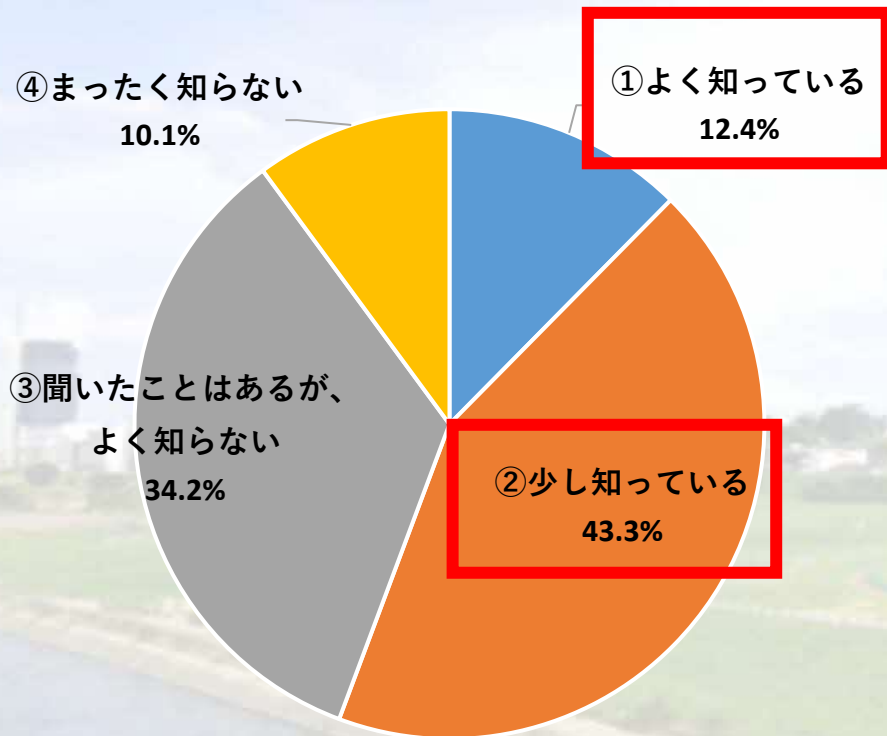


※参考：令和5年度市民意識調査…28.6% (①②の回答)

(4) 成年後見制度について

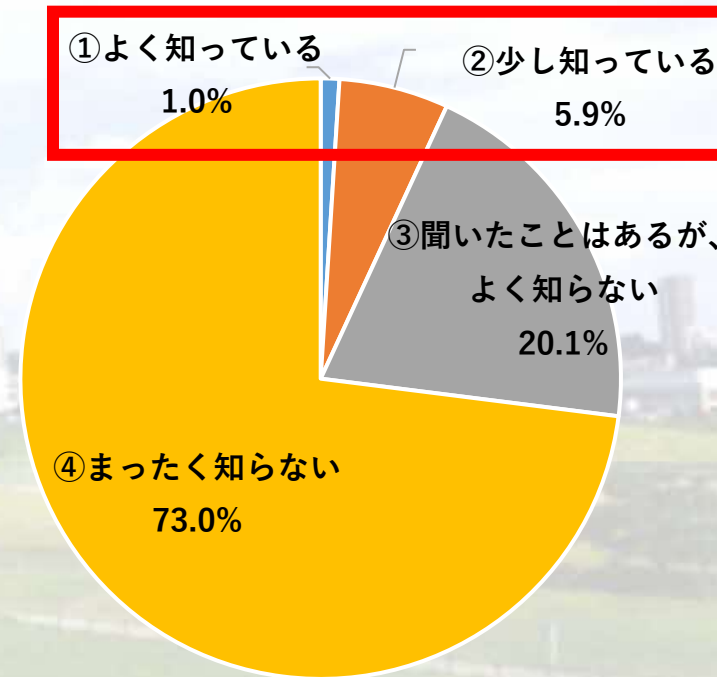
(参考資料1 P.13~14)

成年後見制度 認知率…55.7%



※参考：令和5年度市民意識調査…37.4%

ひらかた権利擁護成年後見センター
(こうけんひらかた) 認知率…6.9%

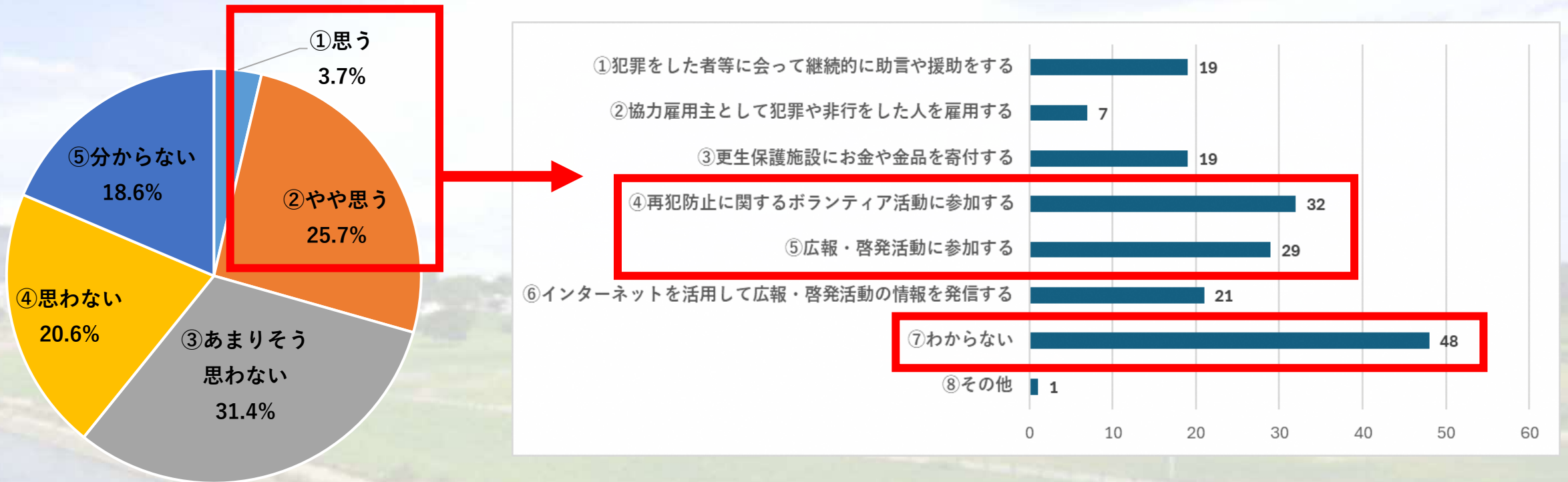


※参考：令和5年度市民意識調査…1.7%

(5) 再犯防止について

■ 犯罪をした者等への立ち直りに協力意向 …29.4% (参考資料1 P.16~17)

※参考：令和5年度市民意識調査…9.6% (①②の回答)



(6) - 1. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※課題をかかえた時の相談窓口や支援センターについて見聞きすることが増えた (参考資料1 P.17~18)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	7	1.7
②ややそう思う	69	17.1
③どちらともいえない	74	18.3
④あまりそう思わない	67	16.6
⑤全くそう思わない	29	7.2
⑥取組みのことを知らない	157	38.9
⑦無回答	1	0.2
合計	404	

肯定意見 (18.8%)

- 広報誌や市のSNSで目にすることが増えた
- 妊娠や出産をきっかけに意識することが増えた
- 子どもや高齢者の問題が多くなり、相談窓口の周知が広がっていると思う

否定意見 (23.8%)

- 当事者ではないため意識していない
- 周りで特に話を聞かない、活動が聞こえてこない

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：16.7% (①②の回答)

否定意見：18.6% (④⑤の回答)

知らない：43.4% (⑥の回答)

(6) - 2. 地域福祉の推進について

- (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。
※成年後見制度など権利擁護に関する情報や窓口を見聞きすることが増えた (参考資料1 P.19)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	11	2.7
②ややそう思う	54	13.4
③どちらともいえない	58	14.3
④あまりそう思わない	71	17.6
⑤全くそう思わない	44	10.9
⑥取組みのことを知らない	166	41.1
合計	404	

肯定意見 (16.1%)

- 広報誌やSNSで目にするため
- 親や自分の老後について考える機会が増えた
- ケアマネジャーをしており、成年後見制度を利用される方が増えていると感じる

否定意見 (28.5%)

- 自分に関係がなく、意識していない
- 日頃話題になることがない、周りで話を聞かない
- 情報として見かける機会は以前から変わっていない

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：7.9% (①②の回答)

否定意見：23.9% (④⑤の回答)

知らない：48.6% (⑥の回答)

(6) - 3. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※地域活動やボランティア活動が活発になった (参考資料1 P.20~21)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	7	1.7
②ややそう思う	63	15.6
③どちらともいえない	96	23.8
④あまりそう思わない	85	21.0
⑤全くそう思わない	31	7.7
⑥取組みのことを知らない	121	30.0
⑦無回答	1	0.2
合計	404	

肯定意見 (17.3%)

- SNSや地域のアプリで活動の情報が広まりやすくなり、参加しやすくなった
- 学校での教育や企業の社会貢献活動などで、ボランティアに触れる機会が増えた
- イベント等でボランティアに関連するブースをよく見かけるようになった

否定意見 (28.7%)

- 自治会の加入率が低下し、イベントの参加者も減っている
- 高齢化などでボランティア活動の担い手が減っていると思う
- 特に変化がみえない
- 自分の周りでボランティアに取り組んでいる人を見かけたことがない

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：12.7% (①②の回答)

否定意見：28.5% (④⑤の回答)

知らない：33.0% (⑥の回答)

(6) - 4. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※防災マップや防災ネットワークなど災害時の支援体制が進んだ (参考資料1 P.21~22)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	17	4.2
②ややそう思う	115	28.5
③どちらともいえない	87	21.5
④あまりそう思わない	53	13.1
⑤全くそう思わない	17	4.2
⑥取組みのことを知らない	114	28.2
⑦無回答	1	0.3
合計	404	

肯定意見 (32.7%)

- 市の防災関連の取組みや発信が増えたと思う
- 防災マップが自宅に配布され、目にする機会が増えた
- 南海トラフ地震のニュースなどから、社会全体の防災意識が高まっている
- 自治会で防災グッズが配布されたり、防災訓練が実施されている

否定意見 (17.3%)

- 自治会の防災活動など、なにをしているか分かりにくい
- 防災マップは見やすくなったが、実際に活用されているところを見たことがない

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：33.5% (①②の回答)

否定意見：17.8% (④⑤の回答)

知らない：26.1% (⑥の回答)

(6) - 5. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※高齢者や子どもの居場所となる拠点が増えた (参考資料1 P.22~23)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	13	3.2
②ややそう思う	100	24.8
③どちらともいえない	91	22.5
④あまりそう思わない	72	17.8
⑤全くそう思わない	16	4.0
⑥取組みのことを知らない	111	27.5
⑦無回答	1	0.2
合計	404	

肯定意見 (28.0%)

- 子ども食堂や高齢者ふれあいサロンを街中で見ることが多くなったと感じる
- オープンスクエアにたくさんの子どもが参加しており、子どものコミュニティの一つになっていると感じる
- 子どもの遊び場や高齢者向けのイベントをよく見るようになった

否定意見 (21.8%)

- 居場所に関する情報発信がなく、増えているか分からない
- 高齢者と子どもと一緒に集える場があればいいと思う
- 地域の親子サロンの開催回数が減っている

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：14.7% (①②の回答)

否定意見：27.7% (④⑤の回答)

知らない：31.3% (⑥の回答)

(6) - 6. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※福祉や人権についての理解が進んだ (参考資料1 P.23~24)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	7	1.7
②ややそう思う	71	17.6
③どちらともいえない	105	26.0
④あまりそう思わない	60	14.9
⑤全くそう思わない	16	4.0
⑥取組みのことを知らない	144	35.6
⑦無回答	1	0.2
合計	404	

肯定意見 (19.3%)

- 小学校低学年から福祉教育などのいろいろな取組みが展開されている
- ヘルプマークの浸透や障害者スポーツ等の展開により、障害者の方への理解が広まっていると感じる
- 差別が少なくなったと感じる

否定意見 (18.9%)

- 理解がない人も未だに多い、簡単に進むものではないと思う
- 人権侵害の発言や事件をまだまだ目にする
- 障害者に対する世間の理解がまだまだないように思う

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：14.4% (①②の回答)

否定意見：18.9% (④⑤の回答)

知らない：31.8% (⑥の回答)

(6) - 7. 地域福祉の推進について

■ (設問) この1年間で、枚方市の地域福祉への取組みはどのように変わったと思いますか。

※高齢者や子どもや障害者との関わり方について学ぶ場が増えた (参考資料1 P.24~25)

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①とてもそう思う	5	1.2
②ややそう思う	61	15.1
③どちらともいえない	94	23.3
④あまりそう思わない	70	17.3
⑤全くそう思わない	22	5.4
⑥取組みのことを知らない	151	37.4
⑦無回答	1	0.3
合計	404	

肯定意見 (16.3%)

- 介護や障害の理解に関する研修や講座が行政や施設で積極的に行われるようになった
- 小学校いきいき広場で障害者との関わりも増えた
- 学校や地域で福祉教育が重視されるようになったと感じる
- 子どもの学校で高齢者が昔の遊びを教えてくれる機会がある

否定意見 (22.7%)

- 認知症サポーターの講座案内はよく見るようになったが、子どもや障害者に関してはもっと学びの場を増やしてほしい
- 広報やHPなどで取り上げられていると感じない
- どこで学べるのか分からない

※参考：令和5年度市民意識調査

肯定意見：10.0% (①②の回答)

否定意見：26.5% (④⑤の回答)

知らない：35.7% (⑥の回答)

2. 地域福祉計画（第5期）の関連事業について



基本方向1 誰もが暮らしやすい地域づくり

成果指標	「課題を抱えた時の相談窓口や支援センターについて見聞きすることが増えた」肯定回答者(割合)
------	---

施策目標1 包括的な相談支援体制の充実

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
ワンストップで受け止める”健康福祉なんでも相談”の周知	健康福祉なんでも相談	健康福祉総合相談課	複合的な課題を抱える人やどこに相談したらよいかわからない人に向けて、健康・福祉・介護・子育てなどの総合相談窓口「健康福祉なんでも相談」を設置し、相談・支援等の取り組みを実施している。	延べ相談件数及び実相談人数					
				延べ相談件数 —	件				
				実相談人数 —	人				
CSW等によるアウトリーチ支援強化	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	CSWによる関係機関や地域との連携を日頃から充実させ、「助けが必要だが声をあげられない方」の情報を得て、積極的にアウトリーチ支援を行う。	延べ相談件数及び実相談人数					
				延べ相談件数 9,729	件				
				実相談人数 1,012	人				
複雑化・複合化した課題に対応できる多機関協働による支援ネットワークの充実	多機関協働事業	健康福祉総合相談課	個々の分野では解決が難しい課題について、各分野の相談員等による「重層的支援会議」を開催し、多機関による支援を通じて課題解決を図る。	重層会議・支援会議件数					
				62	件				
社会とのつながりを作る参加支援の仕組みづくり	参加支援事業	健康福祉総合相談課	ひきこもりや障害を持つ方等が地域社会とつながることができる仕組みづくりを進める。	延べ参加人数					
				277	人				

基本方向1 誰もが暮らしやすい地域づくり

成果指標	「成年後見制度など権利擁護に関する情報や窓口を見聞きすることが増えた」肯定回答者(割合)
------	--

施策目標2 権利擁護のさらなる推進

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
虐待等権利侵害防止のための制度の周知と連携支援	枚方市障害者虐待防止センター	障害支援課	障害者への虐待防止のため、市民や医療機関・団体等に対し、情報提供等と呼び掛ける啓発を行う。また、障害者虐待防止センターは、電話受付を転送電話により24時間対応とし、迅速かつ適切に努めている。	障害者虐待対応延べ相談件数					
				97	件				
	児童虐待防止ネットワーク事業	まるっとこどもセンター	児童虐待に対し、関係機関の連携による早期発見、早期対応の実施及び研修会等の啓発活動により、児童虐待防止への理解と意識の浸透を図る。	児童虐待対応延べ相談件数					
				47,843	件				
	地域包括支援センター	健康福祉総合相談課	地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）が高齢者の生活に関する総合的な相談窓口となり、早期の相談につなげ、虐待への発展を防止する体制を整備する。また、講座やリーフレットの配布、地域での出前講座などを通じて高齢者虐待防止の啓発を推進する。	高齢者虐待対応延べ相談件数					
				347	件				
	枚方市いじめ相談窓口	人権政策課	枚方市内の小中学校、高等学校及び特別支援学校に通う児童生徒及び保護者を対象に、令和5年度より学校、教育委員会以外のいじめ相談窓口として開設。専用電話、メール、FAX、面談、手紙により子ども同士のいじめ相談等を受付けている。	相談対応延べ件数					
				110	件				
個人の意思を尊重した活動の推進	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発	健康づくり課	住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで送り続けるため、自らが望む人生の最期の迎え方について健康なうちから繰り返し話し合いが行われ、家族や医療・ケアチーム等の周囲の大切な人たちと意思の共有が可能な環境が整うよう、ACPの考え方・実施方法について講演会や資料の配布等により市民に広く周知啓発を実施する。 （在宅医療・介護連携推進事業において実施している講座等を含む）	ACPIに関する講座開催回数					
				3	回				

基本方向1 誰もが暮らしやすい地域づくり

施策目標2 権利擁護のさらなる推進

成果指標	「成年後見制度など権利擁護に関する情報や窓口を見聞きすることが増えた」肯定回答者(割合)
------	--

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
成年後見制度の認知度・理解度向上と適切な制度利用促進	成年後見制度市民向け研修会	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	成年後見制度を正しく理解していただくことを目的に、市民を対象とした啓発事業を実施する。	参加人数						
				244	人					
	ひらかた権利擁護成年後見センター(こうけんひらかた)	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	「広報啓発」「相談支援」「後見人支援」「地域でのネットワークづくり」の4つの機能を担い、成年後見制度をはじめとする権利擁護を必要とする人が適切な支援につながるよう支援を行う。	実相談者数						
				330	人					
	成年後見市長申立て	健康福祉総合相談課 障害支援課	判断能力が十分ではなく、親族等による援助が見込めない知的障害者、精神障害者や高齢者等の権利擁護のため、市長が成年後見制度活用の審判請求を行う。	市長申立件数						
				14	件					
成年後見制度の担い手確保と育成・支援	市民後見推進事業	健康福祉総合相談課	市民の立場で後見活動を行う「市民後見人」の養成を行いバンク登録者を増やすとともに、受任者に対しては専門相談等を通じてスムーズな後見活動ができるよう支援を行う。	登録者数及び受任者数						
				登録者数 6	人					
				受任者数 3	人					
身寄りのない高齢者に対する新たな権利擁護支援制度の構築	権利擁護支援モデル事業	健康福祉総合相談課	身寄りのない高齢者の方が、住み慣れた地域で最後まで安心して生活ができるよう、見守りや安否確認サービスをはじめ預託金を預かった上で支払い代行や死後事務等を行う。	契約者数						
				1	人					

基本方向2 誰もが活躍できる地域福祉のネットワークづくり

成果指標

「地域活動やボランティア活動が活発になった」
肯定回答者(割合)

施策目標1 地域で活躍できる人が増える環境づくり

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
世代や属性を超えた地域の居場所づくりの充実	子どもの居場所づくり推進事業	子ども青少年政策課	経済的理由や家庭環境の問題等で十分な食事をとれない子どもたちを対象にした食事の提供や、子どもであれば誰でも参加できる居場所づくりなど、子どもたちを見守る活動（いわゆる「子ども食堂」）に取り組む地域団体等に助成を行う「子どもの居場所づくり推進事業」を平成28年10月から実施している。 この取り組みが市内でさらに広がるよう、新たにはじめられる団体を対象に、補助金の交付申し込みに関する相談を随時受け、審査のうえ、備品購入費などの初期経費や、食材費などの運営経費について補助を行う。	20	校区					
	放課後オープンスクエア事業	放課後子ども課	市内全44小学校において、放課後にすべての児童が主体的に活動できる場として、学校施設の一部を開放している。「総合型放課後事業」として、「留守家庭児童会室」と一体的に運営している。	7,910	人					
	校区福祉委員活動	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	高齢者、障害（児）者、子育て中の親子等の地域で自立生活を行う上で支援を必要とする人々が安心して生活できるよう地域住民の参加と支え合い、助け合い活動を小地域で行う体制を構築することを目的とした校区福祉活動を支援する。	参加者数 55,266	人					
	高齢者居場所づくり活動	健康づくり課	地域住民が主体となって高齢者の生きがいや交流の場を継続的に運営し、介護予防や地域の支え合いを促進するもの。居場所の登録と市ホームページによる情報公開を行っている。	112	団体					
	元気づくり・地域づくりプロジェクト	健康づくり課	事業者だけではなく地域で生活支援サービスを担う事業主体と住民が連携しながら、つながりや助け合いなど多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となるよう「元気づくり・地域づくりプロジェクト」として各小学校区を担当エリアとする会議体の設置及び運営支援を行う。	43	校区					

基本方向2 誰もが活躍できる地域福祉のネットワークづくり

成果指標

「地域活動やボランティア活動が活発になった」
肯定回答者(割合)

施策目標1 地域で活躍できる人が増える環境づくり

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
地域活動への参加の きっかけづくり	地域福祉セミナー	健康福祉政策課	地域福祉に関連するテーマを選定し、市民を対象にセミナーを開催。地域の事例等の紹介を通じ、地域福祉について考えてもらうことで、地域の活動等に参加するきっかけとしている。	アンケート満足度（「とてもわかりやすかった」、「わかりやすかった」の合計）					
				87	%				
CSWによる地域活動の コーディネート機能強化	地域づくり事業	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	CSWがコーディネーターとなり、住民が主体となる地域活動の充実を図る。	出張相談会を開催した拠点数					
				22	箇所				
地域活動を進め、支える ボランティアの育成・支援	ボランティア育成	健康福祉政策課 社会福祉協議会	社会福祉協議会に枚方市ボランティアセンターを設置し、ボランティアをしたい人と必要とする人のコーディネートや、ボランティアの育成に取り組むとともに、ひらボラ・ルームなどを開催してボランティアをする人が増えるよう取り組んでいる。	ボランティアセンター登録団体数					
				83	団体				
	ボランティア体験事業	市民活動課	地域活動の新たな担い手を育成することを目的に、中学生以上の生徒・学生や30歳未満の方が、NPOや校区コミュニティ協議会の活動に容易に関われるきっかけとなるよう実施するもの。	「ボランティア体験事業」の参加者数					
				470	人				

基本方向2 誰もが活躍できる地域福祉のネットワークづくり

成果指標

「防災マップや防災ネットワークなど災害時の支援体制が進んだ」肯定回答者(割合)

施策目標2 災害時に助け合える取組の強化

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
「避難行動要支援者名簿」の更新・配付	避難行動要支援者名簿	危機管理対策推進課 健康福祉政策課 介護認定給付課 障害支援課	災害時に必要な支援を実施するため、避難行動要支援者名簿を作成し、名簿に登載された人の内、平常時からの情報提供に同意された人について、消防、警察、民生委員、自主防災組織等へ名簿情報を提供するもの。	名簿登載者数					
				15,574	人				
「避難行動要支援者名簿」を活用した有効的な避難支援や安否確認の手法の検討・整理	福祉避難所の指定促進	危機管理対策推進課 健康福祉政策課 障害支援課	災害時の避難生活において、特別の配慮が必要な方に適切に対処するため、社会福祉施設等を活用した福祉避難所の指定促進を図る。	指定施設数					
				25	ヶ所	-	-	-	-
「個別避難計画」作成の推進	個別避難計画作成促進事業	危機管理対策推進課 健康福祉政策課 介護認定給付課 障害支援課	避難行動要支援者名簿に載っている方々が、災害時に安全に避難するため、どこかの避難所へどのように避難するのか、手助けしてもらえる人がいるのかなどを記載した個別避難計画の作成を推進する。	個別避難計画作成に向けた取組状況					
				-	-	-	-	-	-

基本方向2 誰もが活躍できる地域福祉のネットワークづくり

成果指標

「防災マップや防災ネットワークなど災害時の支援体制が進んだ」肯定回答者(割合)

施策目標2 災害時に助け合える取組の強化

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
要配慮者の避難環境の整備	第1次避難所における要配慮者の避難環境の整備	危機管理対策推進課	避難所における衛生環境の改善に係る取り組みの中で要配慮者が避難生活を快適に過ごせるよう簡易ベッドやパーテーションを配備する。	要配慮者スペース整備避難所数						
				52	ヶ所					
地域の防災訓練への積極的な参加の呼びかけ	校区自主防災訓練	危機管理対策推進課	校区自主防災組織が実施する防災訓練に対して、関係機関及び避難所派遣職員の参加調整、備蓄品の提供など、積極的な支援を実施する。また、自主防災組織ネットワーク会議を通じて、各校区の先進的な取り組みを水平展開する。	校区自主防災訓練参加者数						
				4,837	人					
企業や団体と連携した災害ボランティアセンターの運営	災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション	社会福祉協議会	災害に備えた支援体制づくりを推進するために、行政、関係団体、関係機関と平時より連携し、災害時ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施し、災害発生時を想定した取り組みを行う。	参加者数						
				99	人					
災害ボランティアの育成	枚方市災害ボランティア推進事業	社会福祉協議会健康福祉政策課	平時より災害に関する研修会を開催し、災害ボランティアの養成を進めるほか、すでにボランティア登録している人に対する研修を実施する。	災害ボランティア登録者数						
				60	人					

基本方向2 誰もが活躍できる地域福祉のネットワークづくり

成果指標

「高齢者や子どもの居場所となる拠点が増えた」
肯定回答者(割合)

施策目標3 地域活動拠点への支援

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
地域の活動拠点の整備等への助成	自治会館建設等助成制度	市民活動課	市民活動の推進のため、住民自治組織が自治会館を建設される場合等に、自治会館建設等助成金交付規則に基づき、予算の範囲内で建設費等に対して助成金交付を行う。	整備等を行った自治会館数					
				8	件				
市内施設の活用	生涯学習市民センター 地域利用	文化生涯学習課	市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進するため、市民等に生涯学習市民センターの諸室を貸し出す。	利用件数					
				61,060	件				
	総合福祉会館の福祉利用	健康福祉政策課	福祉活動を支援するために、公共施設の利用許可申請を行うことで、活動場所を確保する。	総合福祉会館の登録団体数					
				109	団体				
	老人福祉センターの利用	健康福祉政策課	福祉活動や地域活動の活動場所を確保するために、老人福祉センターの貸室の利用を受け付けている。	総合福祉センターの登録団体数					
				66	団体				
事業者との連携による地域福祉活動の支援	事業者による地域交流スペースの提供	健康福祉総合相談課 社会福祉協議会	枚方市内の社会福祉法人が連携して福祉課題の解決に向け取組を行う「枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会」とCSWが連携し、企業や商店会、事業所と地域の橋渡しの役割を担い事業展開を図る。	事業者等の施設を活用した回数					
				10	回				
	認知症カフェ (オレンジカフェ)	健康福祉政策課	認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場として認知症カフェを実施している。	カフェ登録団体数					
				19	団体				

基本方向3 誰もが支え合い尊重し合える意識づくり

施策目標1 福祉意識の向上

成果指標

「福祉や人権についての理解が進んだ」肯定回答者(割合)

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
福祉や人権に関する理解促進に向けた啓発・情報発信	人権啓発事業	人権政策課	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託を行い、連続講座「生きること」(4回)、人権文化セミナー、人権週間事業における講演会等の開催を通じて、人権について考える機会を市民に提供している。	参加者数及び満足度						
				参加者数 365	人					
	満足度 95	%								
	認知症サポーター養成講座	健康福祉政策課	高齢者が認知症になっても地域の中で尊厳を持ち、できるだけ自立した生活を維持し、安心して暮らせるよう、認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進を目的として、認知症について理解する認知症サポーターの養成講座を開催する。	講座受講者数						
				1,310	人					
事業者等による地域貢献活動の充実	社会福祉施設地域貢献連絡会	社会福祉協議会	分野を超えた施設同士の連携と地域住民への啓発のため、市内の商業施設にて「福祉なんでも出張相談会」や、研修会等を実施している。	福祉なんでも出張相談会の相談者数						
				53	人					
	学園都市ひらかた推進協議会	政策推進課	「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を行う。	事業に参加した学生数						
				2,203	人					

基本方向3 誰もが支え合い尊重し合える意識づくり

成果指標

「福祉や人権についての理解が進んだ」肯定回答者(割合)

施策目標1 福祉意識の向上

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
市民に向けた福祉講座の充実	なんでも・どこでも出前塾	文化生涯学習課	「ひらかたのまちづくり」を市民と共に進めるため、市の職員が地域に伺い、本市の取り組みや暮らしに役立つ様々な情報をお話する「出前講座」を行っている。その講座のテーマの中に福祉に関するテーマがあり、市民からの希望があれば担当課が「出前講座」を行う。	福祉・災害分野の講座開催回数						
				27	回					
就労・住居の確保や適切な保健医療・福祉サービスの利用に向けた支援	健康福祉なんでも相談	健康福祉総合相談課	包括的相談窓口において、安定した生活を送るために必要となる就労先・住居の確保や適切な保健医療・福祉サービスの利用に向けて伴走的な支援を行う。	自立支援相談センターにおける犯罪歴のある方からの相談件数						
				4	件					
保護司等による再犯防止への取組の支援	更生保護サポートセンター運営補助事業	健康福祉政策課	地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行っている枚方・交野地区保護司会を支援する。	更生保護サポートセンターにおける対応件数						
				223	件					
社会を明るくする運動の推進と地域の理解促進	社会を明るくする運動	社会福祉協議会	すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪をした者等の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい社会を築く「社会を明るくする運動」について、各種啓発活動を行い、地域の理解促進を図るもの。	(一般市民の) 式典参加者数						
				228	人					
再犯防止連絡会の立ち上げの検討	再犯防止連絡会(仮称)	健康福祉政策課	警察署、保護観察所などの関係機関、保護司会や協力雇用主会などの関係団体及び市の関係部署との連携強化を図ることを目的に、情報共有や意見交換、課題の検討などを行う「再犯防止連絡会(仮称)」の立ち上げに向けた検討を進める。	連絡会立ち上げに向けた検討状況						
				—	—	—	—	—	—	

基本方向3 誰もが支え合い尊重し合える意識づくり

施策目標2 福祉や地域に関する学びの推進

成果指標

「高齢者や子どもや障害者とのかかわり方について学ぶ場が増えた」肯定回答者(割合)

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績					
				R6	単位	R7	R8	R9	R10	
福祉施設や交流の場における福祉の学びの推進	子ども介護体験事業	健康福祉政策課	慢性的な人手不足に陥っている介護人材の確保のため、子ども世代が介護職について理解を深めるきっかけを作ることを目的に、駅近くに市立のデイサービスセンターが入った福祉会館がある枚方市ならではの強みを生かし、ラポールひらかたを介護職の魅力発信拠点ととらえ、デイサービスセンター指定管理者とも連携し、子ども世代の職業体験などを行う。	102	人					
	乳幼児と思春期の子どもたちの交流の推進	公立保育幼稚園課	中学校の体験学習や高校生ボランティアの受け入れなど、保育所(園)等の乳幼児と中学生・高校生の交流を通じて、保育所(園)等の役割や小さい子どもへの関わり方を学べる機会を設定し、次代を担う親としての意識形成を図る。	3	校					
	ほっこりひらかた	障害企画課	障害に対する正しい理解を深め、地域において、障害がある人もあらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できる社会の実現を目指す啓発イベント「ほっこりひらかた」を開催する。	90	人					
	健康・医療・福祉フェスティバル	健康福祉政策課	健康・福祉推進都市の趣旨を踏まえ、その推進事業の一環として、健康医療と福祉に対する意識の高揚を図り、市民自ら健康づくりを実践する気運を高めることを目的として開催する。	1,077	人					
	社協ふくしフェスティバル	社会福祉協議会	市内のボランティアグループや福祉団体、本会の組織会員や公募事業助成基金の助成団体などと連携し、市民に対して福祉を身近に感じてもらえるように、ラポールひらかた全館と枚方市総合文化芸術センターの芝生エリアなどを会場に開催する。	1,000	人					

基本方向3 誰もが支え合い尊重し合える意識づくり

施策目標2 福祉や地域に関する学びの推進

成果指標	「高齢者や子どもや障害者とのかかわり方について学ぶ場が増えた」肯定回答者(割合)
------	--

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績				
				R6	単位	R7	R8	R9	R10
学校や地域における福祉の学びの推進	枚方子どもいきいき広場事業	放課後子ども課	これからの時代を担う子どもの「生きる力」を育むことを目的に、市内全44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に実施している児童健全育成事業。地域団体等が地域の特色や多様性を生かした体験活動を実施している。	実施回数					
				1,302	回				
	DV予防教育	人権政策課	誰もがDVの被害者にも加害者にもならないために、暴力のない環境づくりと子どもの頃からの教育を行う必要があることから、教育委員会と連携し、希望校に対してDV予防教育を実施する。	実施校数(小中学校合算)					
				17	校				
	課題解決型学習(PBL)	教育指導課	未来を担う子どもたちが、福祉をはじめとした様々な課題に対して、他者と協力して解決していく等の資質・能力を習得し、自ら考え新たな解を生み出す素養の養成に取り組むもの。	福祉分野の学習に取り組んだ学校数					
				53	校				

地域福祉計画（第5期）成果指標シート



基本方向3	誰もが支え合い尊重し合える意識づくり
施策目標2	福祉や地域に関する学びの推進

計画該当ページ	P28
---------	-----

成果指標①	「高齢者や子どもや障害者とのかかわり方について学ぶ場が増えた」 肯定回答者(割合)<計画P64参照>	質的評価	目標	評価軸	基準		中間		最終	
		市民意識調査	19%	↑	10.00%		R8	評価	R10	評価
		市政モニター	25%		16.30%					

【取組写真】説明

具体的な取組	関連事業名	担当部署	事業の概要	(参考)	事業実績						取組実績	
				R6	単位	R7	R8	R9	R10			
福祉施設や交流の場における福祉の学びの推進	子ども介護体験事業	健康福祉政策課	慢性的な人手不足に陥っている介護人材の確保のため、子ども世代が介護職について理解を深めるきっかけを作ることを目的に、駅近くに市立のデイサービスセンターが入った福祉会館がある枚方市ならではの強みを生かし、ラポールひらかたを介護職の魅力発信拠点ととらえ、デイサービスセンター指定管理者とも連携し、子ども世代の職業体験などを行う。	102	人							
	乳幼児と思春期の子どもたちの交流の推進	公立保育幼稚園課	中学校の体験学習や高校生ボランティアの受け入れなど、保育所(園)等の乳幼児と中学生・高校生の交流を通じて、保育所(園)等の役割や小さい子どもへの関わり方を学べる機会を設定し、次代を担う親としての意識形成を図る。	3	校							
	ほっこりひらかた	障害企画課	障害に対する正しい理解を深め、地域において、障害がある人もあらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できる社会の実現を目指す啓発イベント「ほっこりひらかた」を開催する。	90	人							
	健康・医療・福祉フェスティバル	健康福祉政策課	健康・福祉推進都市の趣旨を踏まえ、その推進事業の一環として、健康医療と福祉に対する意識の高揚を図り、市民自ら健康づくりを実践する気運を高めることを目的として開催する。	1,077	人							
	社協ふくしフェスティバル	社会福祉協議会	市内のボランティアグループや福祉団体、本会の組織会員や公募事業助成基金の助成団体などと連携し、市民に対して福祉を身近に感じてもらえるように、ラポールひらかた全館と枚方市総合文化芸術センターの芝生エリアなどを会場に開催する。	1,000	人							